

## 【生成AIアンケート】『ちいき新聞』3月6日「生成AI特集号」に向け実施！ 継続的に生成AIを使用しているのは約3割

株式会社地域新聞社（本社：千葉県八千代市、代表取締役：細谷 佳津年、証券コード：2164、以下「当社」といいます。）は、『ちいき新聞』2026年3月6日号にて企画している「生成AI特集号」のため、地域新聞社メルマガ会員56,625名を対象に生成AIに関するアンケートを行い、1,425名から有効回答をいただきました（※）。

※実施期間：2025年12月13日(土)～16日(火)

### ■『ちいき新聞』とは

千葉県と茨城県で約174万部発行。1軒1軒ポストに手配りをする週刊フリーペーパーです。「地域密着の双方向メディア」をコンセプトに、クイズやアンケート、読者体験記事など、読者参加型のコンテンツを数多く展開。今回の生成AI特集号でも、本アンケートを反映した内容を制作中です。

### 1.『ちいき新聞』3月6日号は生成AI特集

3月6日号のちいき新聞では「生成AI」をテーマにした記事を掲載します。AIを「特別な技術」ではなく、「人の暮らしや学びを支える身近な道具」として紹介します。

#### 【コンテンツ（予定）】

##### ・あなたの世界を変える生成AI

AIに関心はあるけれど、使い方がわからない読者に向けて「AIとの付き合い方」をチャートでタイプ別診断し、それぞれに合った活用法を紹介します。

##### ・AI講座に行ってみた！－暮らしを便利にするヒントがいっぱい

読者の代表がAI講師に「教育や生活で役立つAI活用法」を教わる体験の様子をレポート。AIが「人の生活に寄り添う技術」であることを伝えます。

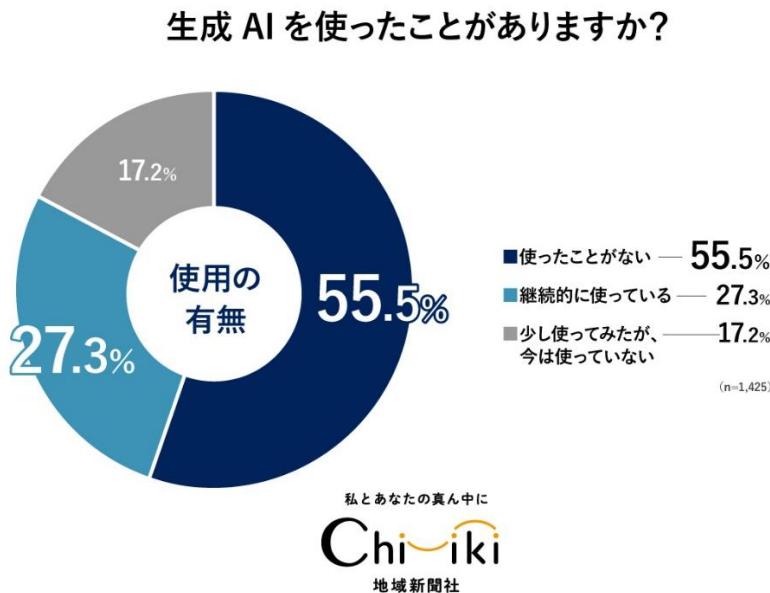
##### ・AIが授業を変える－船橋・飯山満中学校の実践から見る「学びの未来」

生成AIを活用した実践的な授業づくりが進んでいる船橋市・飯山満中学校での現場レポートをお届けします。

さらに、企業様向けに、当社の編集が記事を制作するタイアップ全面記事広告や、特集記事×広告の相乗効果が見込めるタイアップ広告もご用意しています。

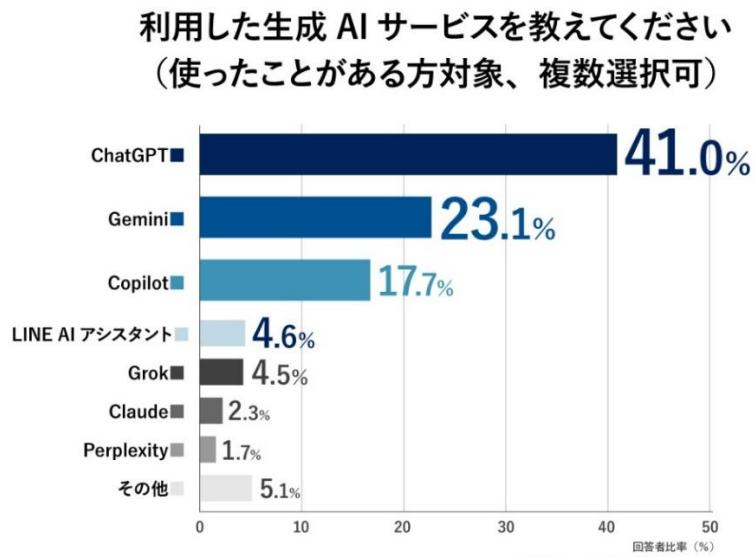
以下、生成 AI にまつわるアンケート結果を発表します。

## 2.生成 AI を使ったことがありますか？



「生成 AI を使ったことがありますか？」という質問に対し、1位は「使ったことがない」で、全体の半数以上という結果に。「少し使ってみたが、今は使っていない」という答えも合わせると、現時点で 7 割強が生成 AI を使っていないことになります。「継続的に使用している」と答えた人は約 3 割でした。最近話題の生成 AI ですが、継続的に使用している人はまだ少数であることがわかります。

## 3.利用した生成 AI サービスを教えてください（使ったことがある方対象、複数選択可）

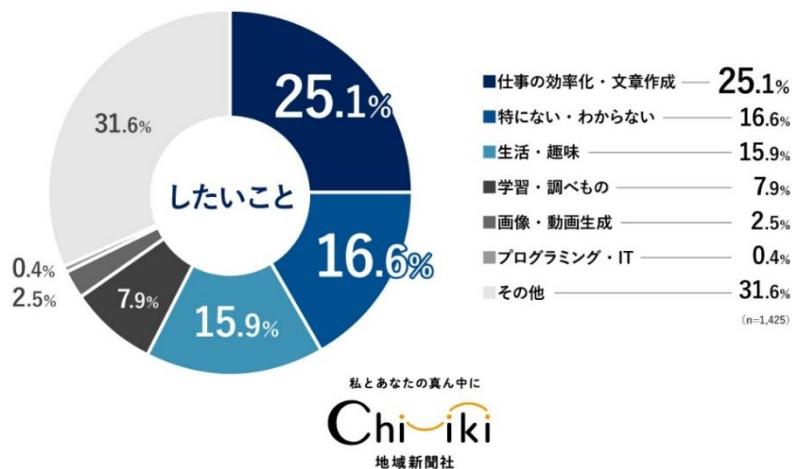


「利用したことのある生成 AI サービスは何ですか？」という質問に対し、圧倒的 1 位は生成 AI ブー

ムの火付け役である「ChatGPT（チャットジーピーティー）」で、回答の約4割を占めました。2位のGoogleが開発した「Gemini（ジェミニ）」、3位のマイクロソフトが開発した「Copilot（コパイロット）」と続きます。4位以下は、LINEと連携した「LINE AIアシスタント」やXと連携した「Grok（グロック）」、安全性と倫理性に配慮した「Claude（クロード）」、最新情報検索・ファクトチェックに特化した「Perplexity（パープレキシティ）」など、特色ある生成AIの名前が上がりました。

#### 4.生成AIを使ってどんなことをしてみたいですか？

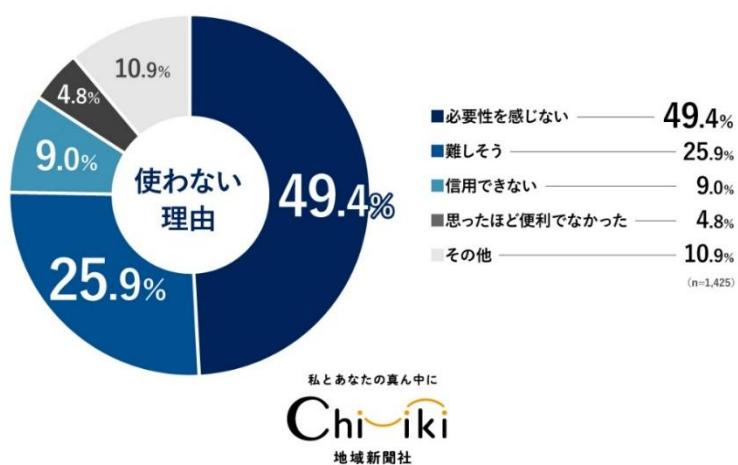
生成AIを使ってどんなことをしてみたいですか？



「生成AIを使ってどんなことをしてみたいですか？」という質問に対して、回答の1位は「仕事の効率化・文章作成」で25.1%でした。しかし、まだまだ生成AIは発展途上で、仕事で利用する際のルールや仕組み作りが整っているとは言い難い状況にあります。それは回答の2位が「特にない・わからない」であることからもうかがえます。3位以降は、趣味や調べもの、画像や動画生成と続き、わずかながらプログラミングやITという回答もありました。

#### 5.使わない、もしくはやめた理由を教えてください（使わないまたはやめた方対象）

使わない、もしくはやめた理由を教えてください  
(使わないまたはやめた方対象)



「生成 AI を使わない、もしくはやめた理由を教えてください」という質問に対し、「必要性を感じない」という回答が約半数を占め 1 位でした。2 位は「難しそう」という回答で、25.9%と全体の約 4 分の 1 を占めます。生成 AI に関心は高いものの、実際に試したことがない人が多いことがうかがえます。3 位は「信用できない」という回答。生成 AI に情報を読み込ませることで、情報漏洩につながる可能性もあるため、使い方について正しく知ることが重要です。

## 6. 『ちいき新聞』媒体概要

発行部数：約 174 万部

発行エリア：千葉県・茨城県を中心に 40 エリア

発行日：毎週金曜日（水・木・金曜日配布）

配布方法：専属配布員によるポスティング配布

### 【3月 6 日生成 AI 特集号】

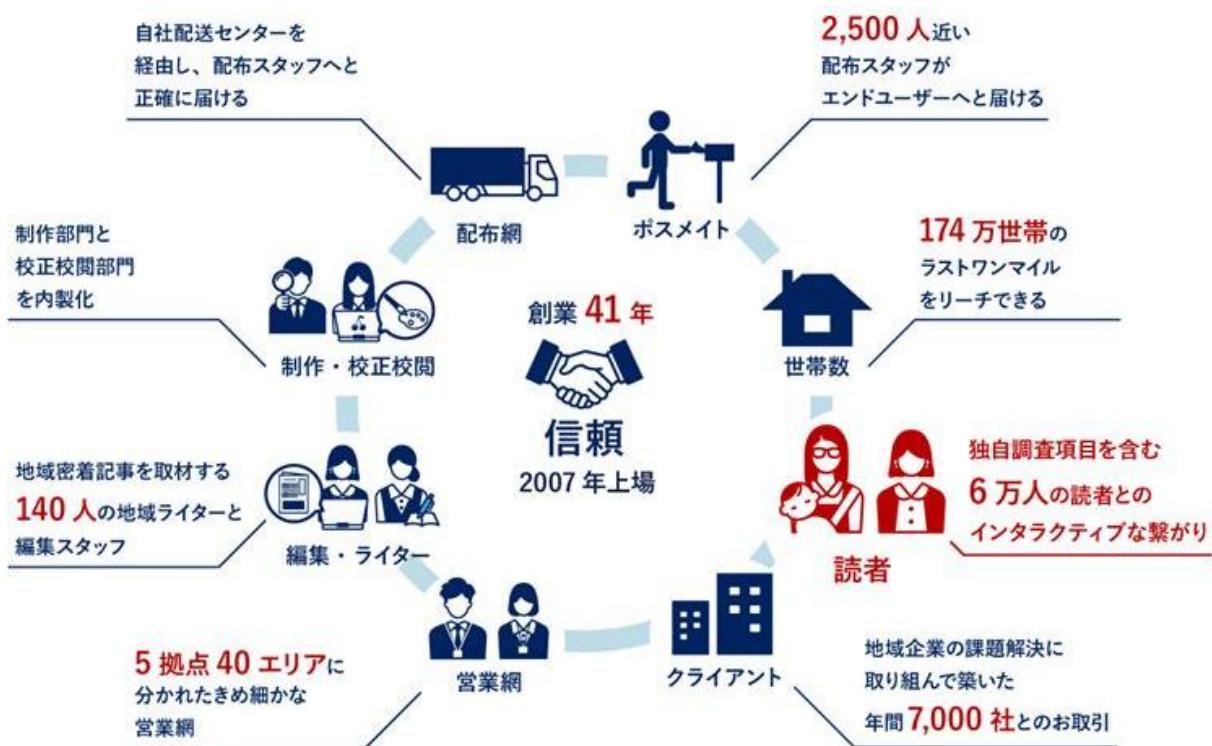
発行日：2026 年 3 月 6 日（金）

校了日：2026 年 2 月 26 日（木）

広告申込締め切り：2026 年 1 月 30 日（金）

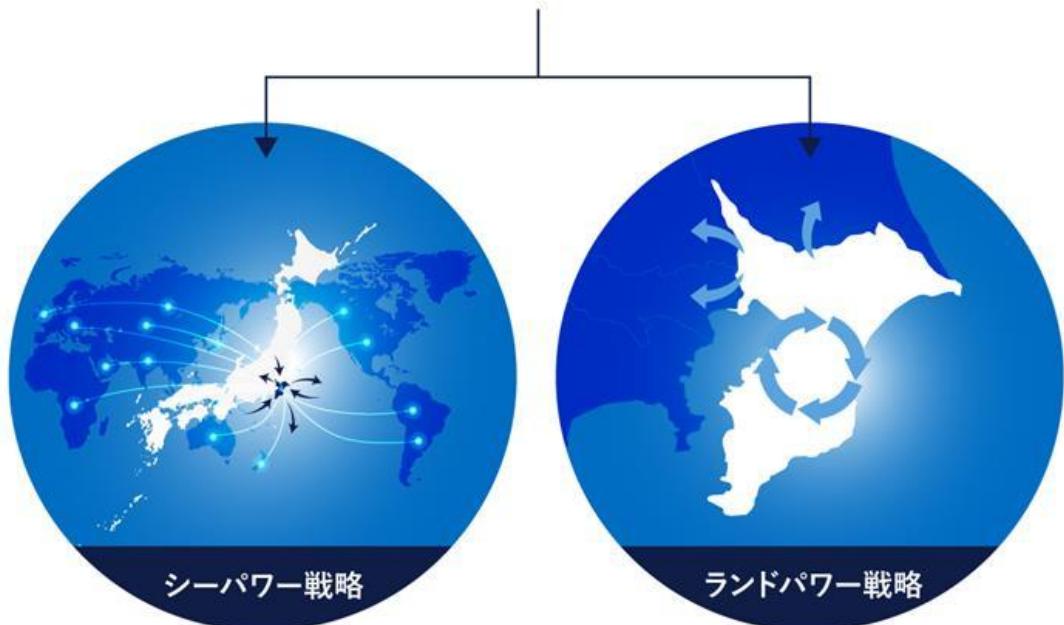
## 地域新聞社のアセットについて

当社は、地域密着型の生活情報誌『ちいき新聞』の発行を軸に、情報発信および販売促進の総合支援事業を展開しており、年間約 7,000 社にサービスを提供しています。千葉県を中心に毎週発行している『ちいき新聞』は、専属の配布員により 174 万世帯へポスティングされ、創業以来 40 年以上にわたり配布を継続してきたことで、他に類を見ない九つのアセットを築いてきました。



現在当社では、この独自のアセットを部分的に活用した取り組みに注力しており、その活用方法として、千葉県外から県内へ、また県内から県外へと価値を橋渡しする「シーパワー戦略」、および県内で価値循環を図る「ランドパワー戦略」の2つを展開しています。

### 地域新聞社の九つのアセットを二つの戦略で部分活用



私とあなたの真ん中に



アセットと成長戦略「StrategicPlan」の詳細▼

<https://ir.chiikinews.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/StrategicPlan9.pdf>

## 会社概要

社名 : 株式会社地域新聞社（東証グロース 証券コード 2164）  
所在地 : 〒276-0020 千葉県八千代市勝田台北 1-11-16 VH 勝田台ビル 5F  
代表者 : 代表取締役社長 細谷 佳津年  
創業 : 1984年8月28日  
URL : <https://chiikinews.co.jp>

### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社地域新聞社

担当 : 編集部 寺本 忍  
TEL : 0120-152-337  
Mail : [teramoto@chiikinews.co.jp](mailto:teramoto@chiikinews.co.jp)